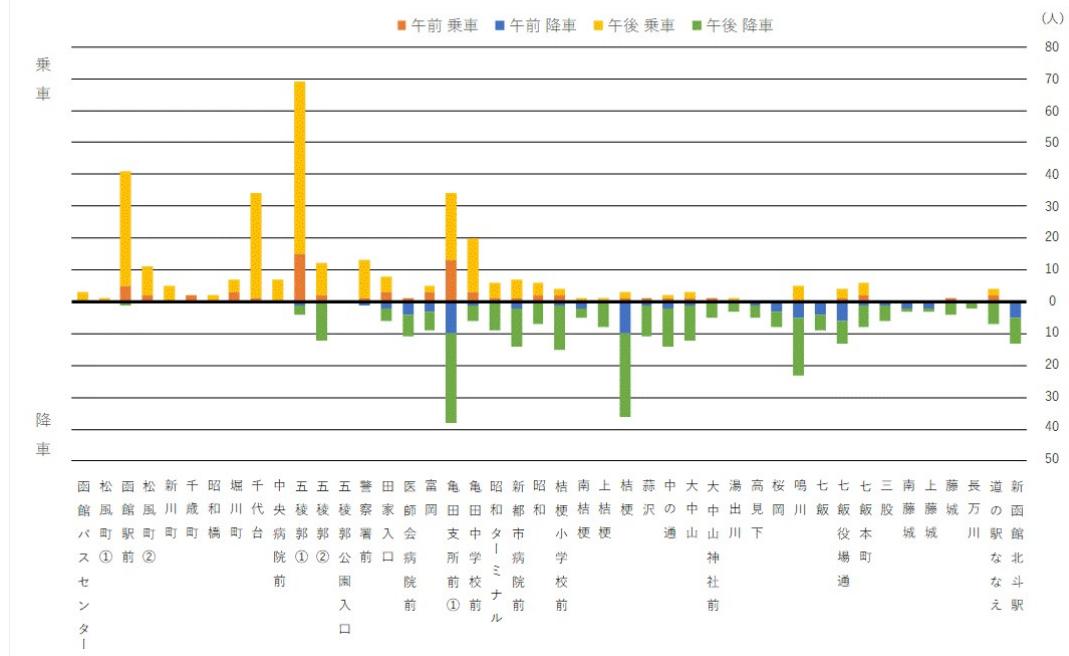


七飯富岡線① (33系統)

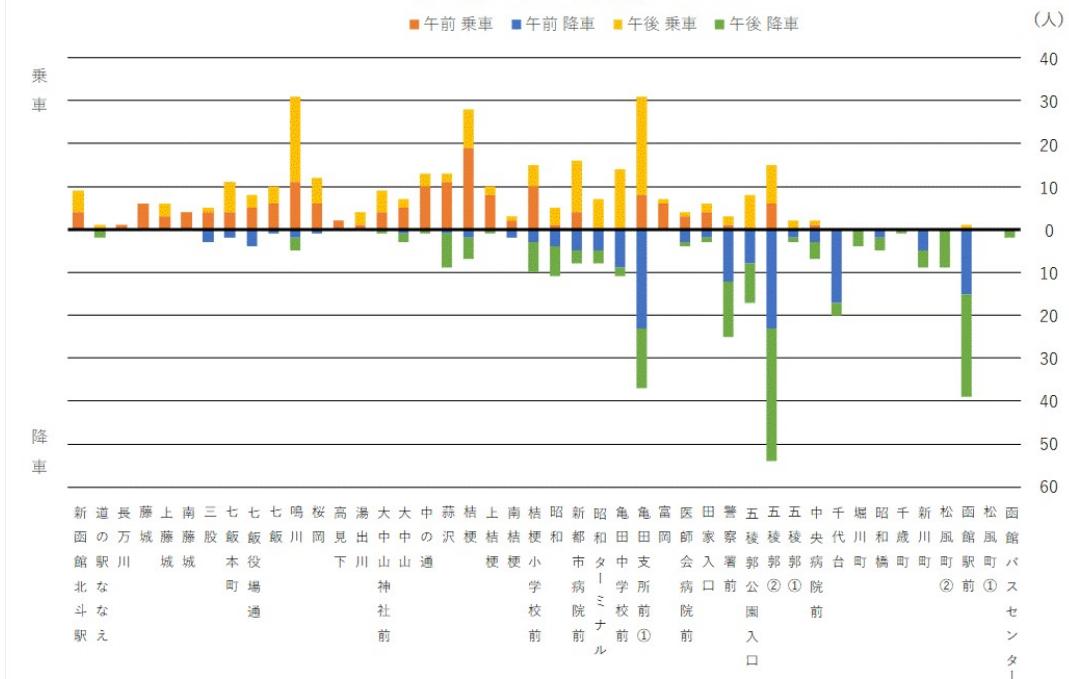
◆平 日 (R4.8.26(金))

函館バスセンター → 新函館北斗駅



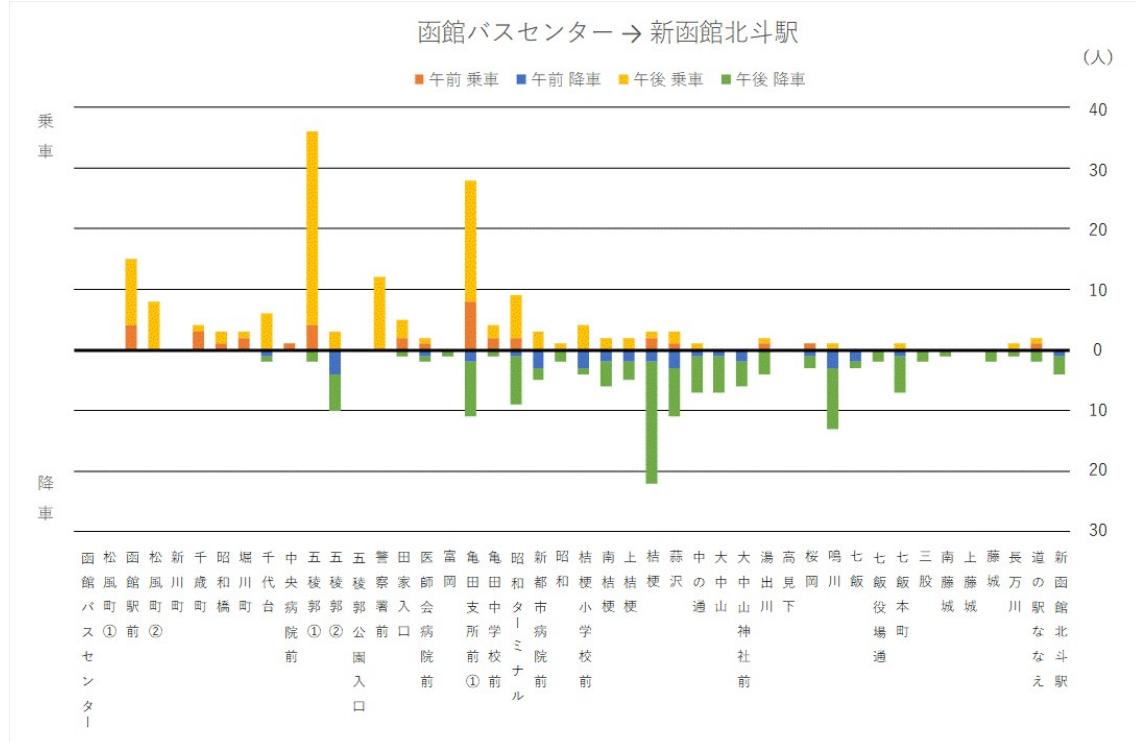
- ・圧倒的に午後の乗降者が多い傾向にある。
- ・函館市内での乗車が大半であるが、その中でも函館駅前、五稜郭、亀田支所前周辺で特に多い。
- ・亀田支所前以降の幅広い停留所で降車が見られる。

新函館北斗駅 → 函館バスセンター

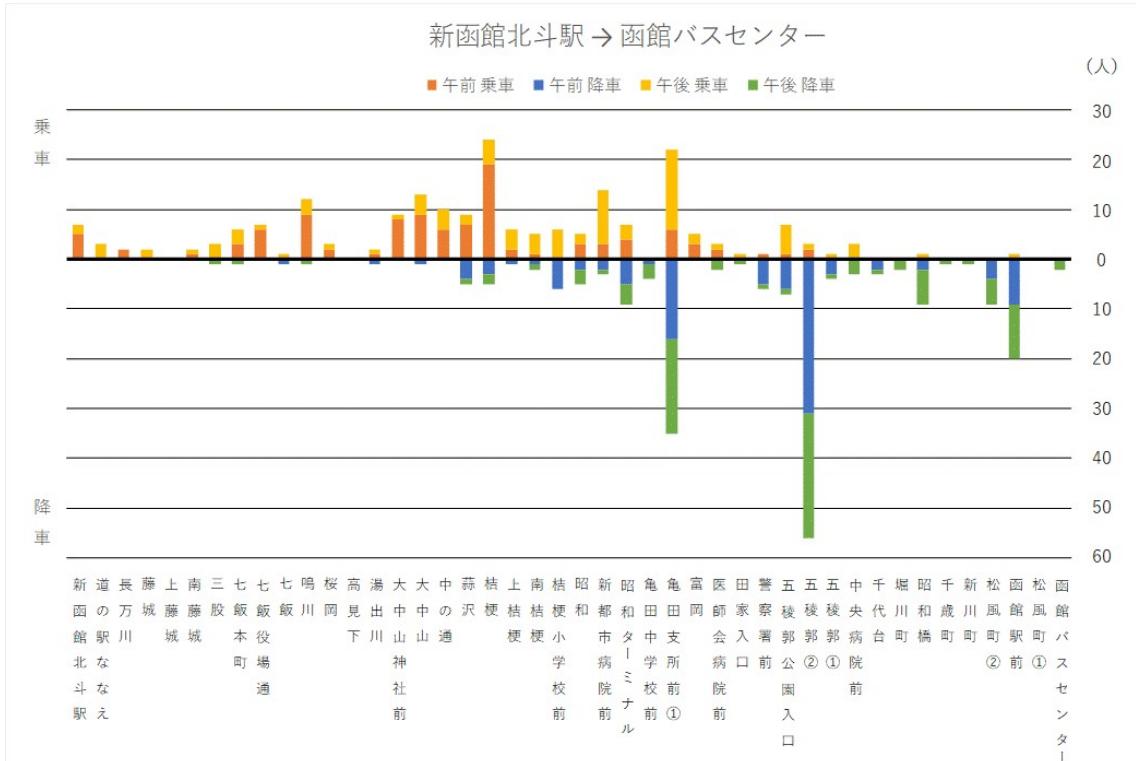


- ・午前、午後での乗降者数の違いはあまり見られない。
- ・新函館北斗駅前から五稜郭までの幅広い停留所で乗車が見られ、特に鳴川、桔梗周辺、亀田支所前周辺で多い。
- ・主に函館市内での降車が多く、亀田支所前、五稜郭周辺、函館駅前で特に多い傾向にある。

◆日曜日 (R4.8.28(日))



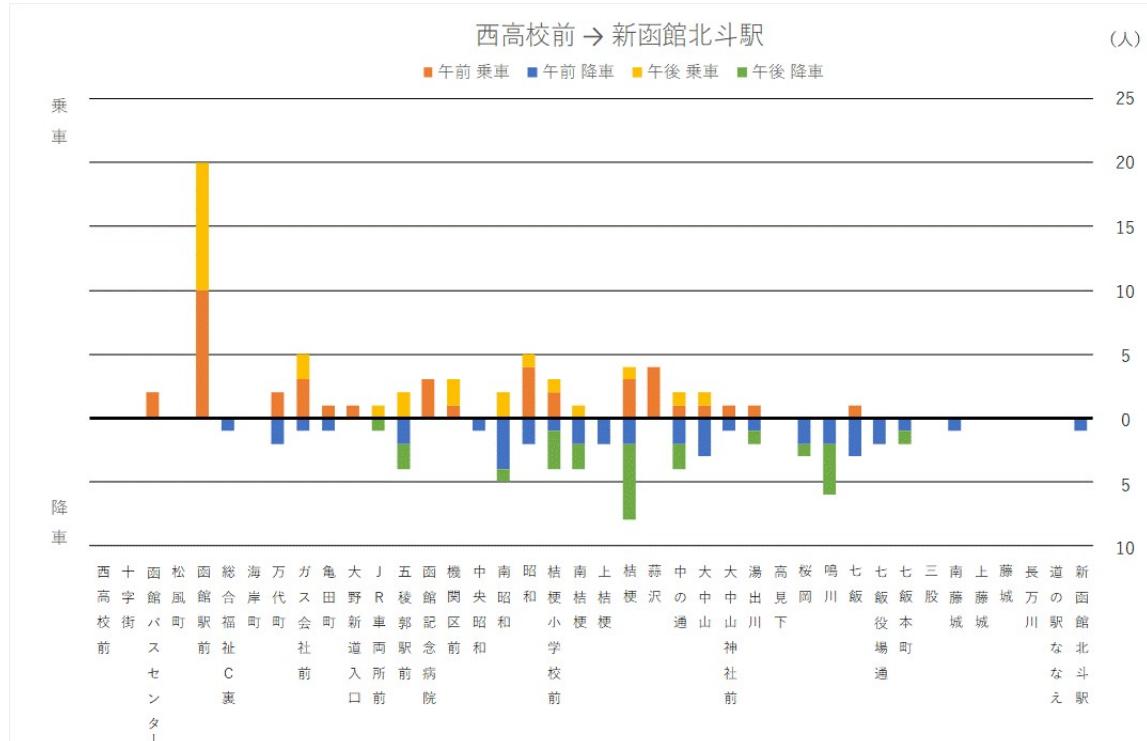
- ・圧倒的に午後の乗降者が多い傾向にある。
 - ・乗降状況は、平日とほぼ同じ傾向が見られる。



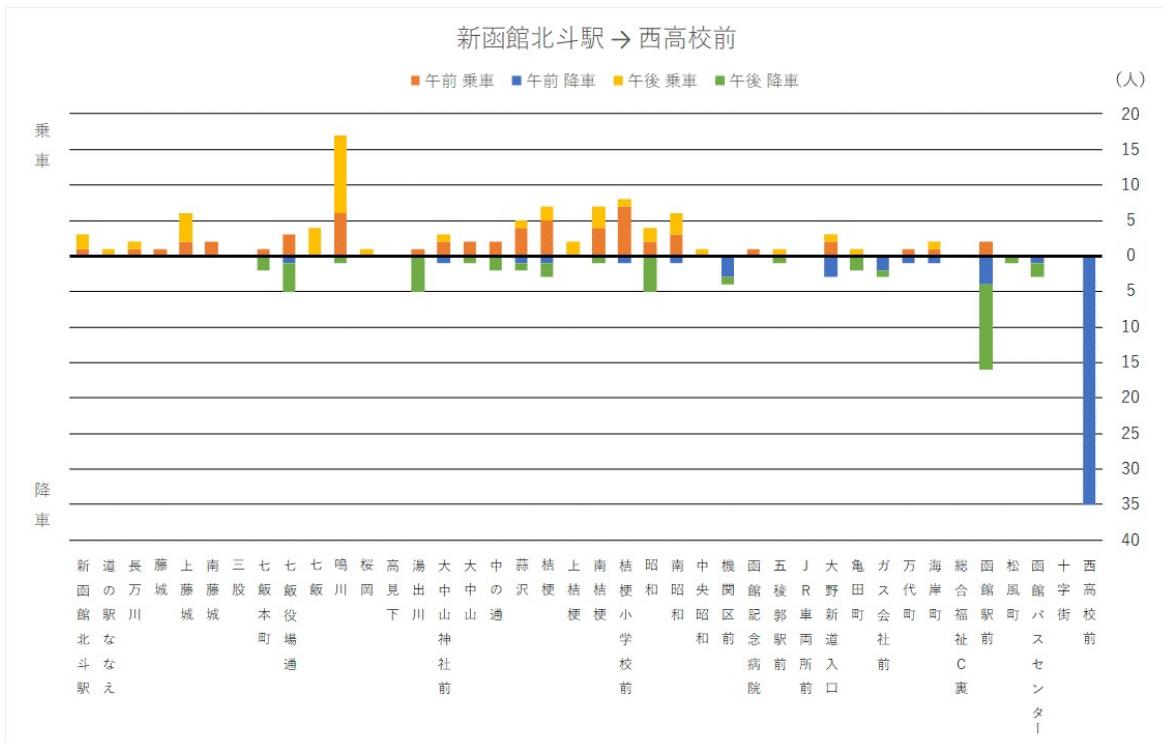
- ・午前、午後での乗降者数の違いはあまり見られない。
 - ・乗降状況は、平日とほぼ同じ傾向が見られる。

函館鹿部線① (36系統)

◆平 日 (R4.8.26(金))

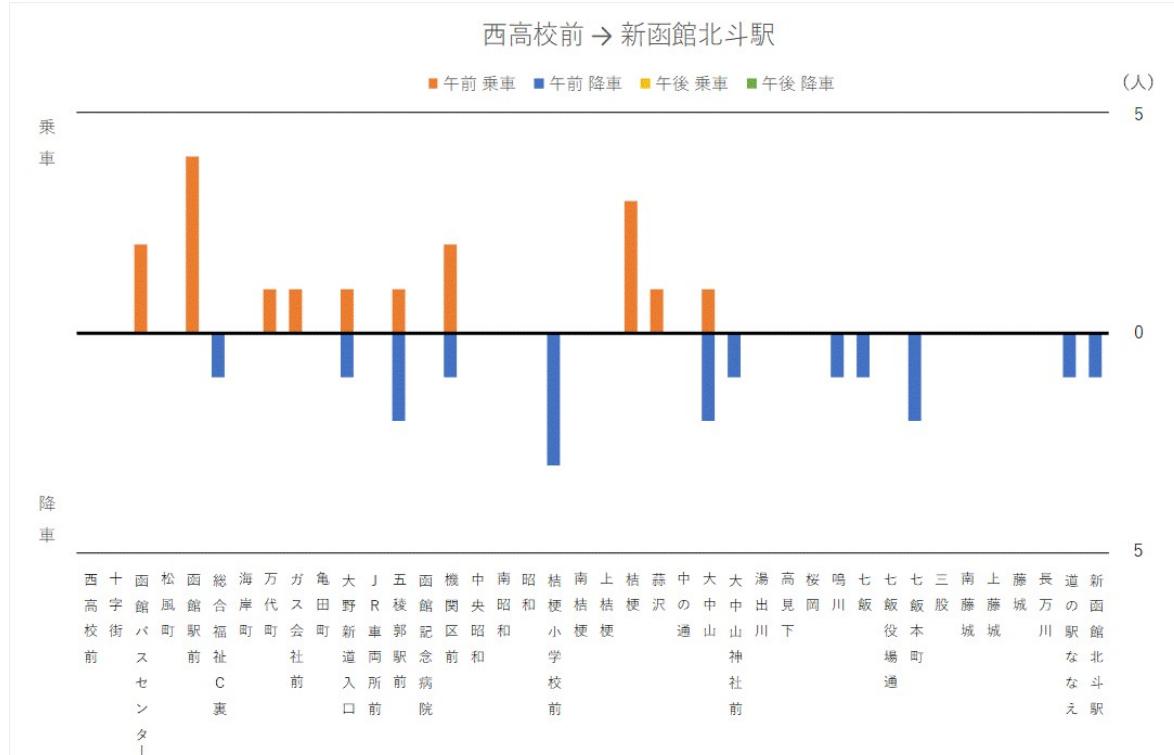


- ・午前中の乗降者が多い傾向にある。
- ・幅広い区間からの乗車があり、特に函館駅前からの乗車が多い。
- ・幅広い区間での降車があり、特に桔梗周辺での降車が多い。

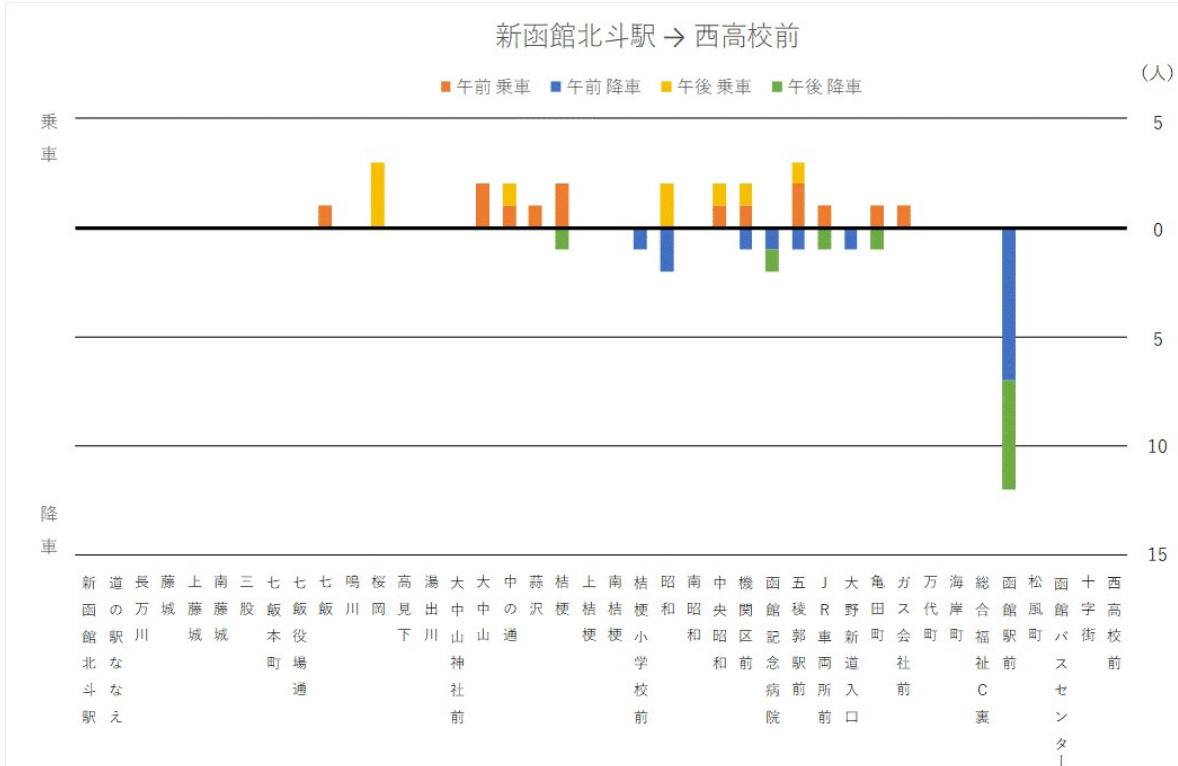


- ・午前、午後での乗降者数の違いはあまり見られない。
- ・幅広い区間からの乗車があり、特に鳴川からの乗車が多い。
- ・幅広い区間での降車があり、特に函館駅前や西高校前での降車が多い。

◆日曜日 (R4.8.28(日))



- ・午前中の乗降者が多い傾向にある（調査日においては午後の乗降者はなかった）。
- ・幅広い区間からの乗降があるが、平日と比較するとバス停は限られている。

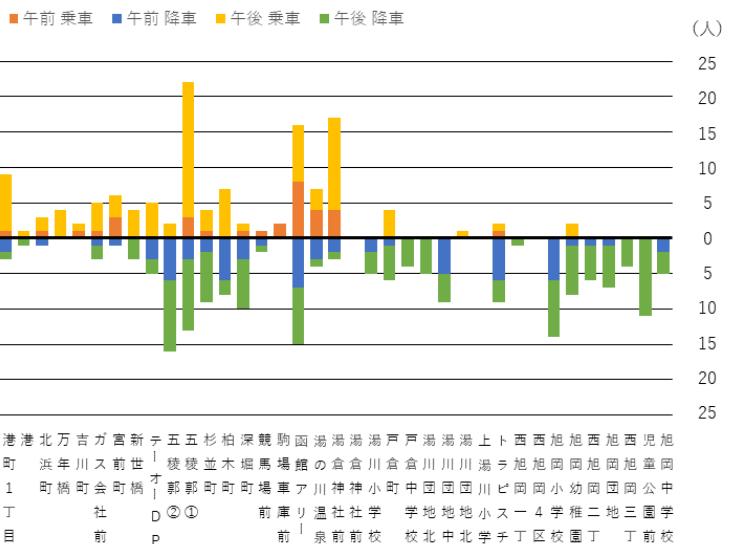


- ・午前、午後での乗降者数の違いはあまり見られない。
- ・平日と比較すると、乗降者そのものが少なく、多くの乗客は函館駅前で降車する傾向が見られる。

旭岡団地線（12系統）

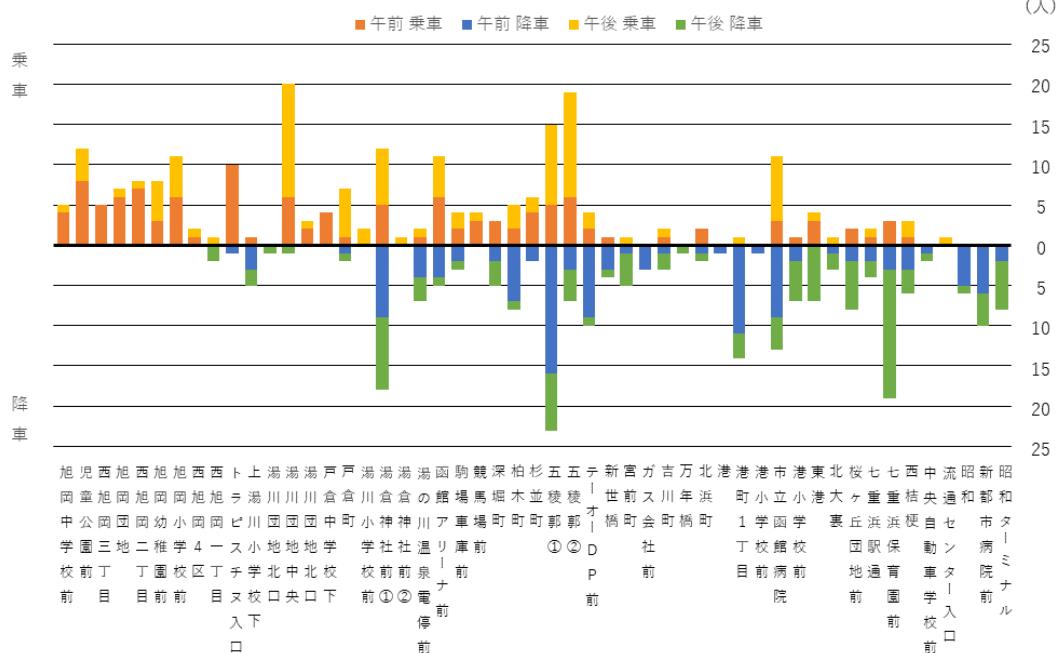
◆平日(R4.8.26(金))

昭和ターミナル→旭岡中学校前



- ・午後の乗降者が多い傾向にある。
 - ・幅広い区間からの乗車があり、特に市立函館病院周辺や五稜郭、函館アリーナ前周辺からの乗車が多い。
 - ・幅広い区間での降車があり、特に北大裏や五稜郭周辺、湯川団地周辺以降での降車が多い。

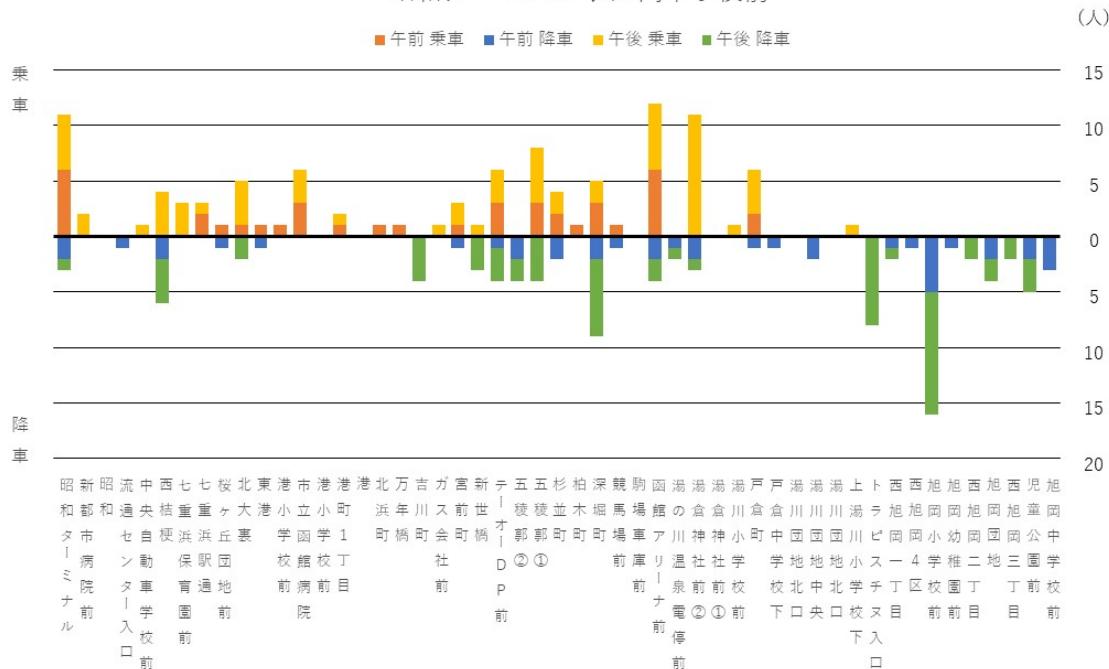
旭岡中学校前 → 昭和ターミナル



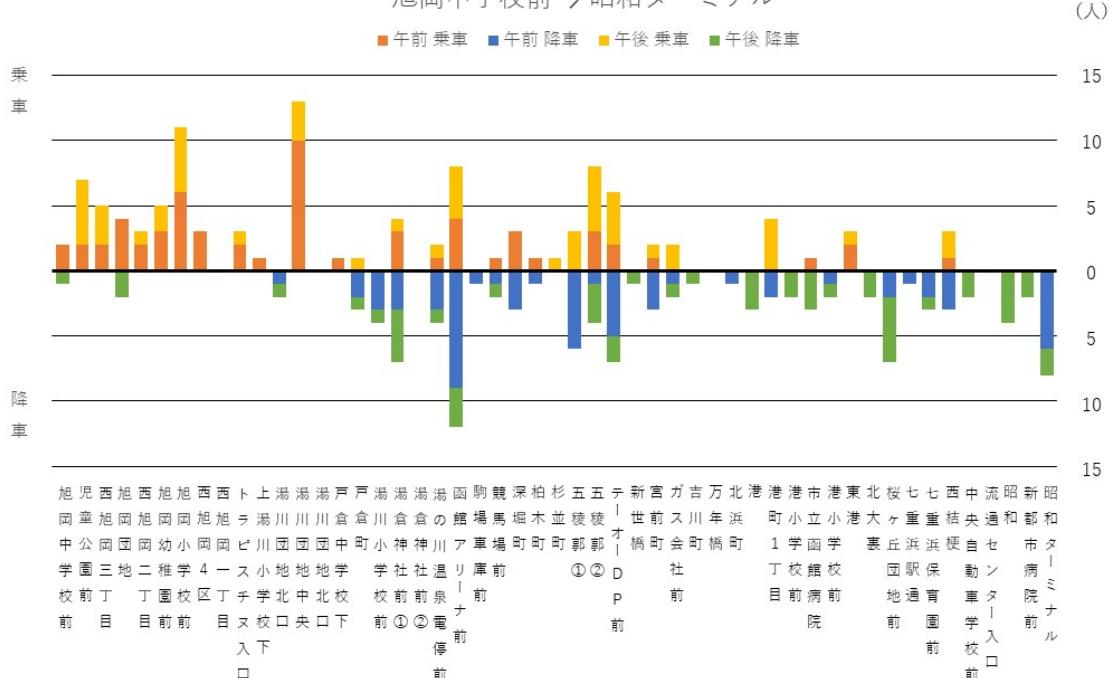
- ・午前、午後での乗降者数の違いはあまり見られない。
 - ・幅広い区間からの乗車があり、特に湯川団地以前での乗車や五稜郭周辺からの乗車が多い。
 - ・幅広い区間での降車があり、特に湯倉神社前から五稜郭にかけての区間や港町1丁目から七重浜保育園前にかけての区間での降車が多い。

◆日曜日 (R4.8.28(日))

昭和ターミナル → 旭岡中学校前



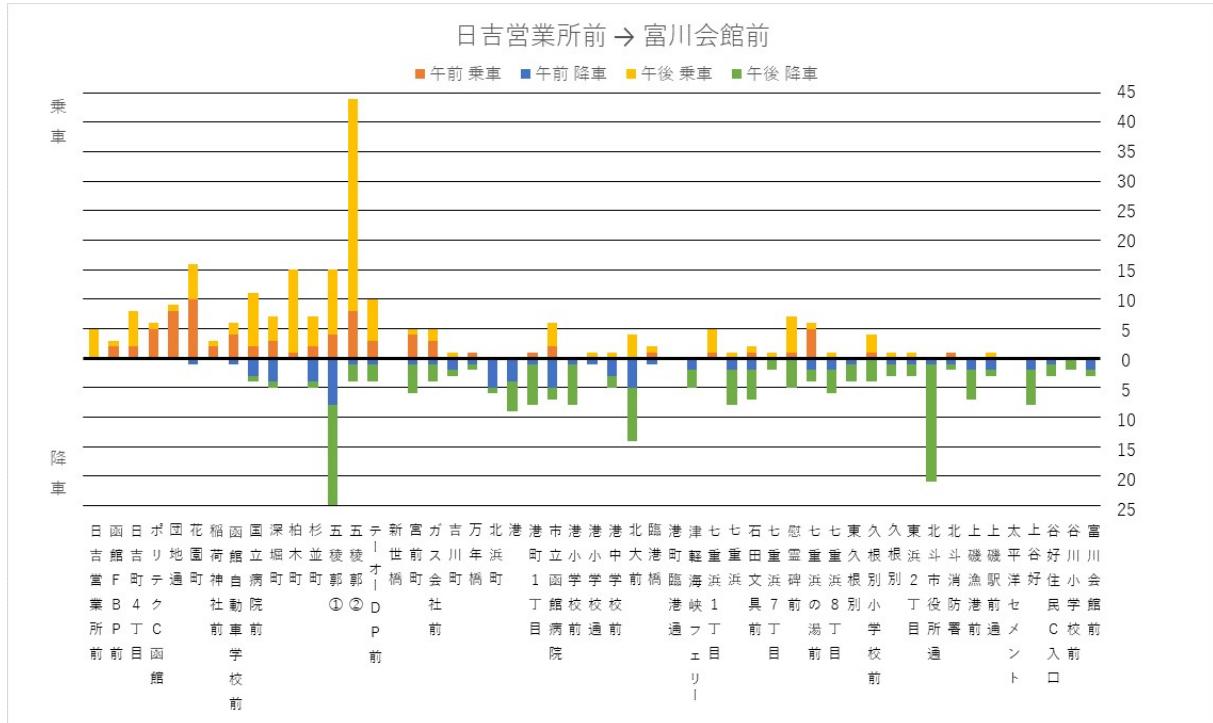
旭岡中学校前 → 昭和ターミナル



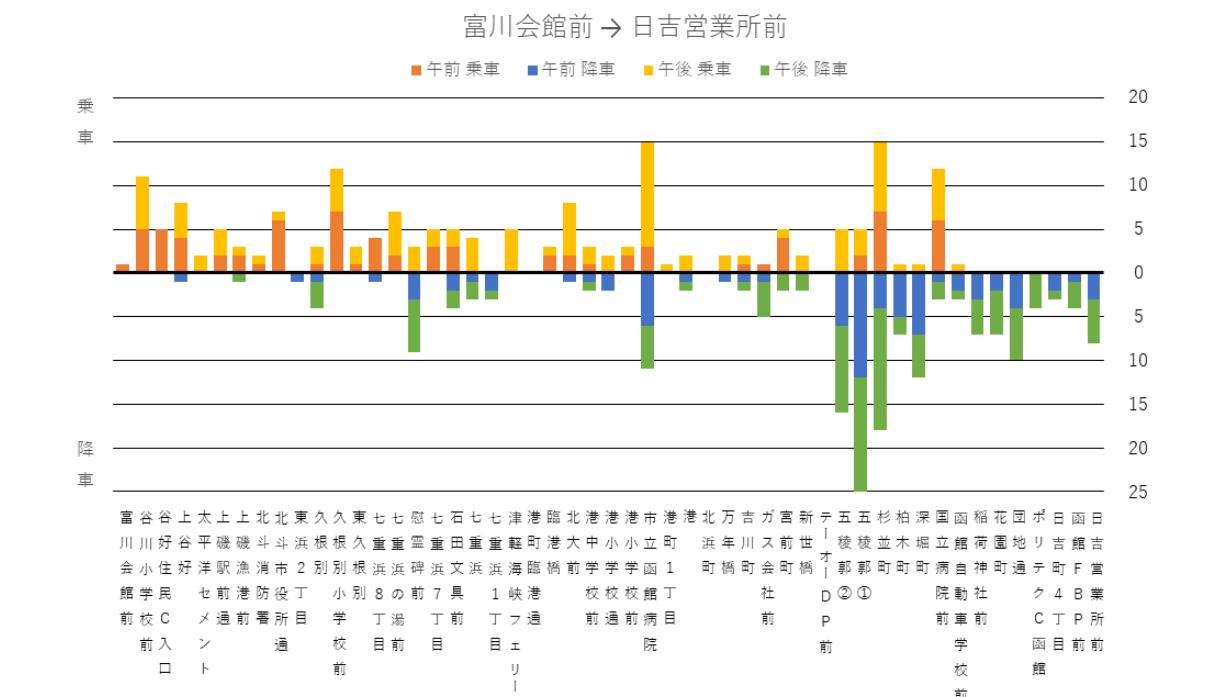
- 午前、午後での乗降者数の違いはあまり見られず、平日と比較して利用者そのものが少ない。
- 乗降者の状況は、概ね平日と同じ傾向にある。

上磯日吉線（16A系統）

◆平 日 (R4.8.26(金))



- ・午後の乗降者が多い傾向にある。
- ・幅広い区間からの乗車があり、特に五稜郭周辺からの乗車が多い。
- ・幅広い区間での降車があり、特に五稜郭周辺や北斗市役所通での降車が多い。



- ・午後の乗降者が多い傾向にある。
- ・北斗市内では幅広い区間からの乗車があり、そのほかでは市立函館病院や五稜郭周辺からの乗車が多い。
- ・幅広い区間での降車があるが、特に五稜郭以降の区間での降車が多い。

◆日曜日 (R4.8.28(日))

